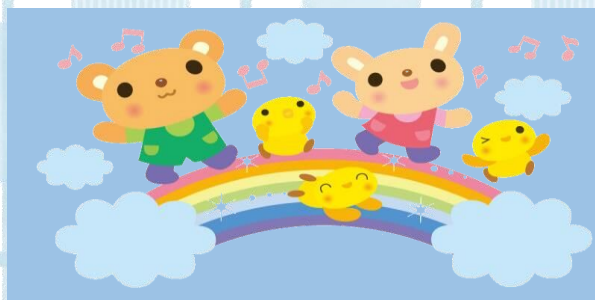


名張市立 薦原保育所



✿保育目標✿

生き生きとあそぶ子ども

- ㊦ 困ったときに支えあえる子ども
- ㊦ 目的に向かって共に育ちあう子ども
- ㊦ はっきりと自分の思いを言える子ども
- ㊦ からだも心もしなやかに生きる子ども

4月 ・はじまりのつどい ・園外保育	5月 ・苗植え 種まき ・春の遠足 ・内科健診	6月 ・歯磨き指導 教室 ・歯科健診 ・交通安全指導	7月 ・七夕おたのしみ会 ・水遊び、プール遊び ・個人懇談
8月 ・平和を願うおはなし会 ・水あそび・プール参観	9月 ・運動会予行	10月 ・運動会 ・さつま芋掘り ・秋の遠足 ・内科健診	11月 ・市民センター展出展 ・やきいも ・親子遠足
12月 ・クリスマスおたのしみ会 ・防火映画 ・歯科健診	1月 ・お正月あそび ・地域交流会 ・修了記念撮影	2月 ・生活発表会(3・4・5歳児) ・ふれあい保育参加(2歳児)	3月 ・入所説明会 ・お別れ会 ・卒園式

毎月・・・身体計測 避難訓練

ボランティアさんによるおはなし会
 貸し出し絵本
 やまなみ号図書貸し出し利用(5歳児)
 もこもこデー(異年齢交流)
 なかよし広場(未就園児親子)

年数回・・・ALT(英語教室 5歳児)
 ピカ1学級(授業体験 5歳児)
 サッカー教室(5歳児)

- ※ 内科健診 歯科健診 交通安全指導 個人懇談 保育参加 クラス懇談会 地域交流等を行っています。
- ※ 園外保育、野外体験活動を随時行なっています。
- ※ 子育てに関する心配や不安解消に向けた悩み相談を受け付けています。

〒518-0606 三重県名張市薦生 1590-2
 ☎ FAX 0595 (63) 5827

こどもの笑顔を咲かせたい

生きる力を育み、学ぶ意欲を育てます

- ♡自然豊かな環境で、子ども達の個性を大切に、子ども達の意欲や力を引き出す保育を目指しています。
- ♡少人数でアットホームな環境を活かして、異年齢活動に取り組んでいます。また、保育士が子ども一人ひとりに丁寧に関わっています。
- ♡保護者や地域の方々と共に、つながりを大切にした保育を進めています。

保育利用時間について

〈月～金曜日〉	8:00	18:00
保育標準時間 認定の方	保育標準時間利用 【就労等の実態に合わせて認定された時間区分での利用となります】	
	8:00	16:30 18:00
保育短時間 認定の方	時間外 保育	保育短時間利用 時間外 保育
〈土曜日〉	8:00	13:00
保育標準時間 認定の方	保育標準時間利用	
	8:00	8:30 13:00
保育短時間 認定の方	時間外 保育	保育短時間利用
〈休園日〉	日曜日・祝日・年末年始(12/29～1/3)	

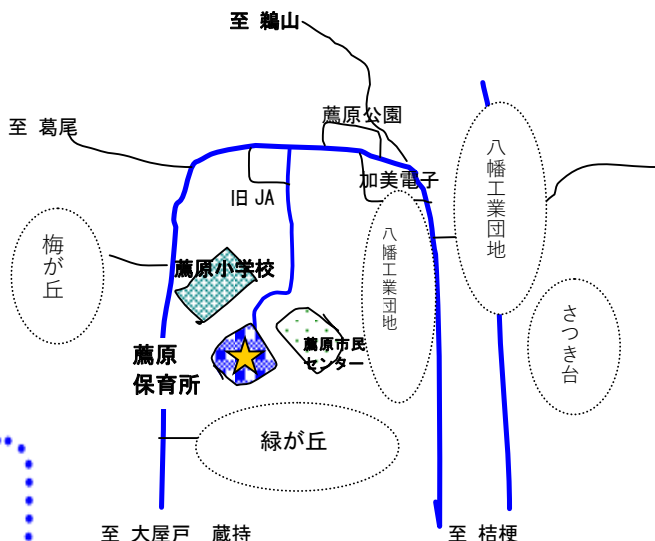


〈職員配置〉

- ・所長 ・副所長
- ・保育士・・・児童数等に応じ必要数を配置しています。
- ・給食調理員・・・栄養バランスのとれた手作り給食、手作りおやつ、離乳食・アレルギー対応食を実施しています。
- ・看護師又は巡回看護師を配置しています。

〈一時預かり事業について〉

- ・地域の子育て支援として行っている事業です。
 (1歳児より利用できます。)



☆保育料及び給食費以外にかかる諸経費について

- ・入所の際には新学期用品の購入が必要となります。
(入所児年齢によって金額が変わってきます。)
- ・保護者会費(令和8年度は、月400円)
- ・親子遠足に係る交通費等が必要となってきます。



☆虐待防止の措置として

子どもの人権の擁護及び虐待の防止を図るため、責任者の設置、体制の整備を行うなどとともに、職員に対する研修の実施、その他必要な措置を講じています。

☆非常災害時対策について

非常時に備えて、消防計画等を作成し、防火管理者または、火気・消防についての責任者を定め、毎月1回避難及び消火にかかる訓練を実施しています。

☆緊急時等における対応方法について

保育中に園児に病状の急変・事故の発生・緊急事態等が生じたときは、市や園児の保護者に連絡し、速やかに嘱託医又は園児の主治医に連絡するなど、必要な措置を講じます。

☆写真販売について

オンライン写真販売『そだちえ』を導入しています。販売期間内は保護者の方がいつでも自由に写真を閲覧・購入することができます。

☆保護者アプリ『コードモン』について

保育ICTシステムの導入により、登降所の確認や出欠などの連絡を『コードモン』で行い、安心して便利な取り組みをしています。また、保育所からのお知らせやおたよりもアプリから配信しています。

大切にしていること

体験する事を大切にしています

- ❁ 幼い子どもが成長するためには、見る・聞く・触るなど五感を使って体全体でいろいろな体験をすることが大切です。
- ❁ 保育士や友だちと関わりルールのある集団生活などの社会生活をすることや、園庭で虫をつかまえたりドングリを拾ったりなど、自然に触れて遊ぶこともすべてが貴重な体験となります。
- ❁ 健全でバランスのとれた成長を図るために保育士は、毎日の生活を大切にし、子ども達一人ひとりの心と体の育ちに寄り添い、乳幼児期にこそ大事にしたい経験を保障していきます。
- ❁ 子どもの時にだけ体験できるゆったり流れる子どもの時間を大切にしています。



☆おむつについて

希望者のみサブスク制度を取り入れています。また、使用済みおむつは園内で処分しています。

